

PROLOGIS

Magazine

特別号

2020 Vol.1

プロロジス 猪名川プロジェクト

西日本全域へ配送可能な
あらたな物流ハブとして2021年に完成へ

大阪、京都、神戸

関西三大消費地へ約50分で到達



プロジェクト始動からこれまでの歩み

2017 2017年6月16日
産業拠点地区開発事業
「プロロジス猪名川
プロジェクト」をスタート

兵庫県川辺郡猪名川町において、先進的物流施設の集積拠点となる産業団地「プロロジス猪名川プロジェクト」。この日、造成工事の起工式を挙行しました。兵庫県の荒木一聡副知事、猪名川町の福田長治町長にもご出席いただき、御入場で工事の無事を祈願しました。



2017年11月16日
猪名川町産業拠点地区企業誘致推進協議会 設立

猪名川町産業拠点地区企業誘致推進協議会は、猪名川町産業拠点地区（プロロジス猪名川プロジェクト）における企業誘致活動に対して、行政機関および関係団体が連携・協力することで、本地区の目指すまちづくりを早期に実現することを目的として設立されました。本協議会は、猪名川町長を会長として、企業誘致に関する調査・研究および情報収集、参画団体間の情報交換や企業・団体に対する広報啓発および誘致活動を実施します。

特設サイト ▶ <https://inagawaproject.com/>



2017年12月21日
新名神高速道路、川西IC～高槻JCT・IC間が開通

プロロジス猪名川プロジェクトの開発エリアは新名神高速道路「川西IC」から約2kmの場所に位置しています。これにより、大阪北部地域および川西地域から周辺の高速度道路へのアクセスが向上。例えば、猪名川町から京都駅までの移動時間は約25分短縮されました。

2018年3月18日 新名神高速道路 川西IC～神戸JCT間が開通

新名神高速道路「高槻JCT・IC～神戸JCT」（全長43.8km）が全線開通しました。NEXCO西日本の試算によると、高槻JCT～神戸JCT間の所要時間が約6分、朝夕時間帯は約10分短縮される見込みです。関西以西の地域と東日本地域を結ぶ物流軸のさらなる強化と利便性の向上が期待されています。

2019年6月18日
「猪名川町産業拠点地区における防災に関する基本協定書」を締結

プロロジスと猪名川町は「猪名川町産業拠点地区における防災に関する基本協定書」を締結しました。プロロジスが開発中の物流施設の集積パーク「プロロジス猪名川プロジェクト」の敷地内に約8,000㎡の防災広場を整備し、町に提供する計画です。物流拠点と防災広場を活用し、官民一体となって安全・安心のまちづくりを推進することを目的に本協定を締結しました。

2019年7月29日 「プロロジスパーク猪名川1」の開発が決定
～6階建てのうち4フロアで工業用間接資材の通信販売大手、株式会社MonotaROの入居が決定～

2020 2019年11月18日 「プロロジスパーク猪名川2」の開発が決定

2020年春 造成工事完了（予定）

2021 2020年4月 「プロロジスパーク猪名川1」「プロロジスパーク猪名川2」着工予定

2021年8月 「プロロジスパーク猪名川2」竣工予定

2021年11月 「プロロジスパーク猪名川1」竣工予定

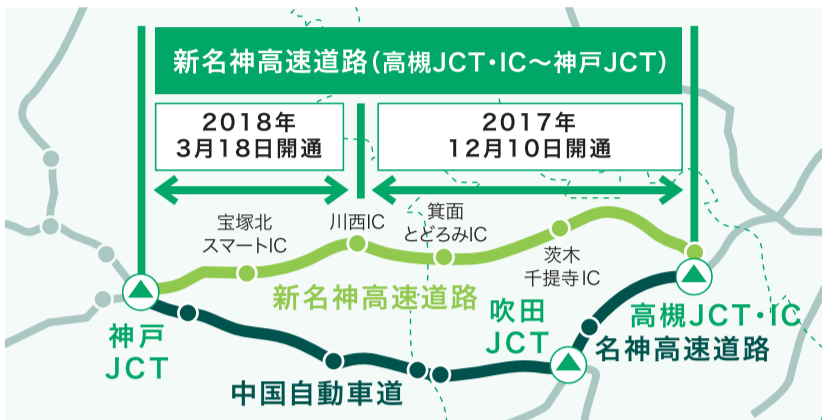
開発地は2018年3月に開通した新名神高速道路「川西IC」から約2km。
大阪市内への配送に加えて、京都方面から広島方面まで西日本各地へ効率的にアクセスが可能な立地です。
プロロジスはこの地に、賃貸用の大型マルチテナント型施設を2棟開発。先進的物流施設の一大集積拠点を開発することで、多様な業種の事業者の皆さまへ、西日本全域をカバーできるあらたな物流ハブを提供します。



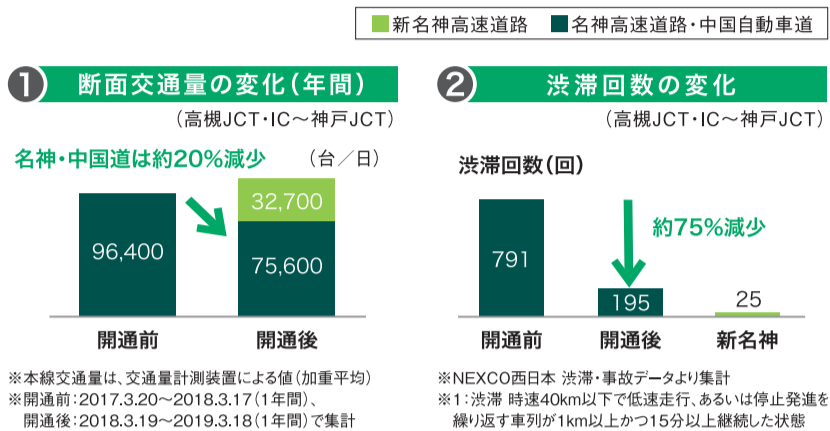
新名神高速道路の開通効果

- 新名神の開通により▶
- ① 高槻～神戸間のダブルネットワークが完成。名神・中国道側の交通量が約20%減少
 - ② 名神・中国道(高槻～神戸間)の渋滞回数が約75%減少
 - ③ 中国道・阪神高速～名神利用の貨物車の約8割が新名神に転換

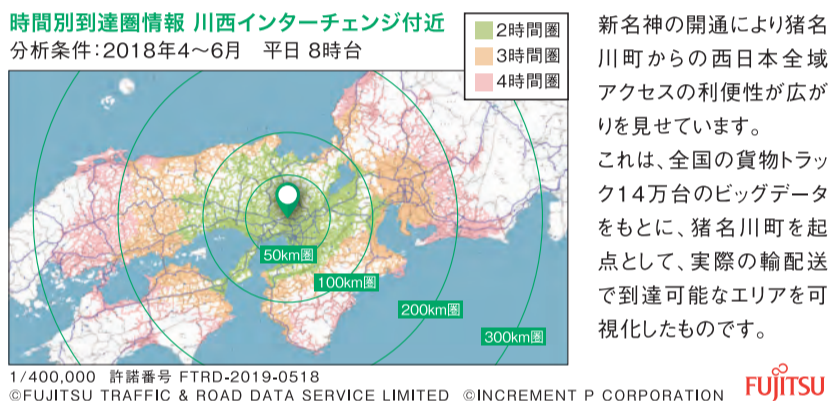
位置図



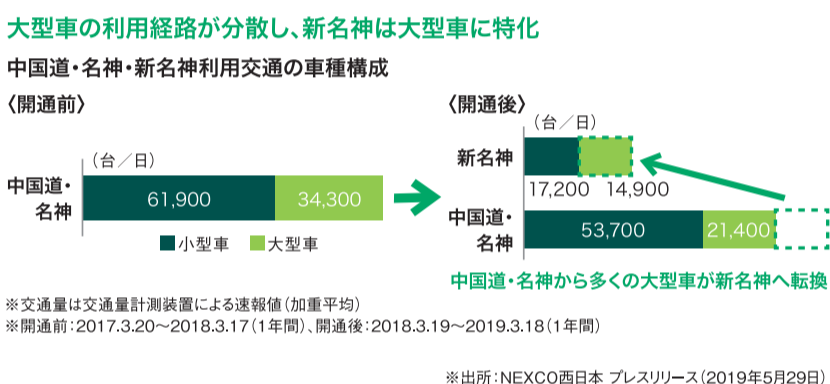
新名神高速道路開通後の交通量・渋滞回数



トラック実測データに基づく到達圏域



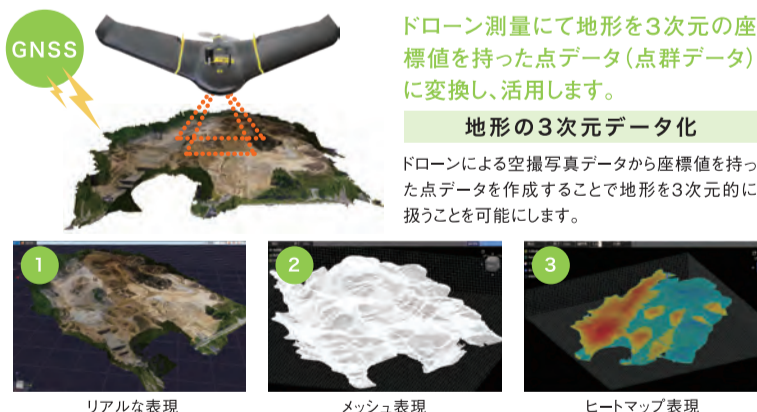
新たな物流軸の構築



プロロジス猪名川プロジェクト

先端技術の活用/i-construction

i-constructionは、自動制御可能な建設機械などの先進的な技術の導入により、建設現場の生産性向上を図る取り組みです。猪名川町の開発地では、ドローンを活用した三次元の土地調査システムを導入し、ICTによる重機の自動管理や、全球測位衛星システム(GNSS)を活用した締固め管理などをおこなっています。



マシンコントロール建設機械

設計図の形状に合わせた自動操作が可能なマシンコントロール(MC)バックホウとMCブルドーザによる土工事、GNSSを搭載した振動ローラーを用いた締固め管理など先進的なICT建設機械を用いて施工しています。

MCバックホウ MCブルドーザ ICT振動ローラー

事業計画概要



開発区域面積	約452,000㎡(約137,000坪)
計画総延床面積	約375,500㎡(約113,500坪)
計画施設	マルチテナント型施設2棟
事業期間	2015～2021年度
開発スケジュール(予定)	2017年6月: 造成工事開始 2020年 春: 造成工事完了、「プロロジスパーク猪名川1」「プロロジスパーク猪名川2」開発着手 2021年8月: 「プロロジスパーク猪名川2」竣工予定 2021年11月: 「プロロジスパーク猪名川1」竣工予定

お問い合わせ先: プロロジス 開発部 TEL: 03-6860-9090 Email: pldnews@prologis.co.jp